

北播磨総合医療センター MRI(3.0T)を増設

【概要】

北播磨総合医療センターでは、この度、MRI（3.0テスラ）を1基増設し、MRI検査が早期に実施できるようになりました。

現在の検査待ちは、通常1～2か月となっておりますが、この度の増設により、迅速な対応が可能となります。

【内容詳細】

当医療センターは北播磨圏域における脳卒中、循環器疾患の急性期基幹病院として、MRI検査の需要が増加しています。これまでは2基のMRI（3.0テスラ1基 1.5T1基）にて対応していましたが、この度の増設により、より精度の高い検査が、迅速に対応できるようになりました。

①稼働開始日：令和3年12月1日

②検査件数：現状、800件/月 ⇒ 増設後 1000件/月

【中央放射線室からのメッセージ】

検査時の多くの快適性の向上を目指し、できるだけ心地よく安心して検査を受けていただける装置です。

①検査中に「映像」や「音楽」が視聴でき、閉所が苦手な方でもリラックスした状態で検査を受けることが可能です。

②臨床MR装置としては肝臓の硬さを測定する技法である最新の「MRエラストグラフィ」を取り入れ、肝臓の炎症や慢性肝疾患の治療の判断に活用することができます。

③高精細診断、高スピード検査にて画像診断の向上が期待できます。

